

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)鎌倉市岩瀬1丁目計画新築工事	階数	地上7F
建設地	鎌倉市岩瀬一丁目1番1他	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	1,604 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2018年1月12日
敷地面積	16,271 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	6,660 m ²	確認日	2018年1月12日
延床面積	34,193 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
道路に沿って植栽帯を計画し、潤いと賑わいのある空間を形成し、ガラス手摺を基調とした外壁を用い、周辺地域の雰囲気明るくする住宅らしい温かみのある景観の創出に努めた。		
Q1 室内環境 ・二重壁によりDr値50を確保。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計の70%以上の面積に採用。	Q2 サービス性能 建物全体のコンセプトや機能、快適性に配慮している。 ・住宅性能表示基準劣化対策等級3を満たす。	Q3 室外環境(敷地内) 景観計画区域内の基準に基づく色彩配置としている。 ・低木と中高木を混植することで立体感と広がりを生み出し、敷地周辺に対し潤いを与える計画とする。
LR1 エネルギー 外皮等に2方向面することで有効な採光・通風が確保されエネルギーを有効活用できるよう配慮している。 ・断熱等性能等級4を満たす。 ・潜熱回収型給湯器エコジョーズ、複層ガラスを採用。	LR2 資源・マテリアル 二重壁・二重天井を採用し資源の再利用に配慮している。	LR3 敷地外環境 駐輪場100%を確保した上、バイク置場を設置することで周辺の交通負荷軽減に配慮している。 ・ディスプレイ設備を採用。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される